

～ 新宿駅周辺地区協議会 ～

第 59 回 地域交流促進を考える分科会 会議概要

平成 21 年 1 月 13 日(水) 10 時～

角筈地域特別出張所 2 階会議室

出席者:武田、須磨、井上、島、白倉、板本、森、村中、田中、山田、岡、関、熊谷

1 リーダー挨拶

2 議事

わいわい地域交流 15 号の振り返り

感想

- ・爽やかな感じでよい。温かみがある。中面の囲みがカラフルでよい。
- ・見た感じすっきりして、情報が盛りだくさんという感じ。写真も多用されていてよい。
- ・全体的にバランスがとれている。
- ・ピオトープも、来年は参加団体に加われればよいと思う。色も温かく、地区協議会が真ん中にドンと載っているのがよい。
- ・だんだん地域情報誌らしく中身が濃くなってきたなという感じ。私たちがインタビューなどに時間をとらずに済んで、事務局が頑張ってくれたのでよかった。
- ・委員に地域でいろいろ活動するというをもっと理解させたい。
- ・表紙のチューリップの写真が春らしくてよい。

どうすればより多くの人に読んでもらえるか

- ・字が小さいので、掲示板に張ってあっても読む気がしないという声を聞く。
- ・手にとって読んでもらうことを前提としているので、これで字が小さいといわれても困る。
- ・手にとって読んでもらう機会がない人が多い。掲示板でしか読めないと思っている人が多い。
- ・一人でも多くの人に配るのが目標だが、もう個別に配るのは手一杯。新しく入った人に開拓してもらいたい。

「わいわい地域交流！」16 号について

- ・今年度については 1 年に発行するのは 4 回。部数は 3500 部。各団体に配る部数を減らし、その分多くの場所に配るようにする。

表紙の色について

- ・季節ごとに表紙の色を基本的に固定する。色の系統を決めておいて、それぞれの発行時にそれに基づき微調整。春は緑系統、夏は青系統、秋は黄色系統(茶色、オレンジ、ベージュ、山吹...)、冬はピンク系。大きく変えたいと思ったときにはその都度臨機応変に話し合う。
- ・題字の色など、さし色はその都度内容に合わせてフレキシブルに使う。
- ・季節ごとに「春号」、「夏号」...としてもいいのでは(それだとずっと年 4 回はっこうしなければならなくなるが)
- ・色のトーンが揃っていると見た目がいいので、色を決める時トーンを揃えるのもいいのでは。

次号以降の配布場所について

- 来年は配る場所を増やすので、どこに新たに配るのか検討する協議会を作ってもいいのでは。

16号の中身について

地域の歴史・文化財情報について取り上げる。

- ・人、催し物、歴史などの項目だけ設けておいて、その都度ピックアップして取り上げてもいいのでは。
- ・地域に関わりのある企業とか、そういういくつかのテーマをとりあげて、そのなかからいくつかのテーマを取り上げる。
- ・まちづくり分科会のほうで、歴史は博物館から提案を受けて、地域の文化財マップをつくる話になっている。そういう面で、まちづくりと地域交流とで合同でプロジェクトを組むなどできるのでは。
- ・地域にある文化財をひとつずつ紹介すれば、4回くらいはすぐあるはず。そういうものをひとつのテーマにすれば、1つのコーナーになるのでは。
- ・地域の商店会やお店などを取り上げて参考になる。どこにどんなお店があるかマップを作れば参考になる。
- ・地域の建築を取り上げる。丹下健三が作った都庁など。住宅街に有名建築家があればそれも取り上げて面白い。文化財に指定されるような歴史的建築物があれば取り上げてみたら。
- ・シリーズ化する。紙面のなかの一つのコーナーとして。タイトルも幅広いものにすれば。

イベント情報も継続してとりあげる。

歴史・文化財情報をメインにするのか、今までのようにイベント情報をメインにするのかは継続して協議

「中央公園春まつり」について

2月上旬に会議。会議の時に団体ごとに1～2人参加しているので、地区協議会からも2人ほど参加してほしい。

武田、須磨、板本、森、井上のなかから、日程が決まればスケジュールと合わせて参加。

3 その他

新宿区自治基本条例検討連絡会議中間報告会

日時：1月30日（土）13時30分～16時

場所：新宿コスミックセンター5階

まちづくり分科会主催による見学会

日時：2月4日（木）8時～16時

集合：東京モード学園前 7時50分（午後8時出発）

行先：東京電力富津火力発電所・新エネルギーパーク

地区協議会パネル展示について

日時：1月12日（火）～19日（火）

会場：区役所1階にて展示

次回会議日程

日時：2月10日（水）

会場：角筈地域特別出張所 2階会議室